

平成 27 年 2 月 4 日

ふるさと飯館の新たなコミュニティづくりを目指して

- 「ふるさと学級いいたて」の開設と運営

福島大学は、飯館村役場や村を支援する団体と協力し、「福島県地域コミュニティ復興支援事業」の採択を受け、「ふるさと学級いいたて」を開設します。

福島市内のメイン「教室」や、各地の仮設住宅集会所・コミュニティセンターを会場に、村の高齢者にとって親しみやすいテーマを選んで、定期的に「授業」を開きます。授業は、先生も生徒もみな村民。村民のみなさんがつくる村民のみなさんのための学校、それが「ふるさと学級いいたて」です。

福島大学と飯館村はこれまで、村の「までいな村づくり」に向けた村の総合振興計画の策定に、大学の教員や学生が直接かかわるなど、その協力関係は深く、長期にわたります（村・村議会と大学との「友好連携協定」締結は 2010 年 3 月）。村が、福島第一原発事故に伴う全村避難という未曾有の事態に見舞われて以降も、福島大学の教員が「復興計画推進委員会」の委員として参画しており、また学生も、飯館中学生をドイツに研修に送り出すという「未来への翼」の企画支援者として、さらには、仮設住宅でのボランティア活動メンバーとして、日々、村や村民に寄り添った活動を継続的に続けています。

このたび福島大学は、飯館村とのこれまでの深い信頼関係と相互協力をもとに、新たに、福島県社会福祉課の「地域コミュニティ復興支援事業」の採択を受け、飯館村役場や村を支援する市民団体（かーちゃんの力・プロジェクト協議会、一般財団法人飯館までい文化事業団、いいたてまでいの会）とともに、新たに「ふるさと学級いいたて」を開設することとなりました。

「ふるさと学級いいたて」は、福島駅前商店街内にある「ふくしまキッチンガーデンビル」をメイン会場に、飯館村の各仮設住宅の集会所や借り上げ住宅のみなさんが集うコミュニティセンター等において、定期的に「授業」を開きます。村の多くの高齢者のみなさんに楽しく参加していただける「授業」を 5 科目準備しています。

（授業科目等は裏面をご覧ください→）

（お問い合わせ先）
小規模自治体研究所所員
行政政策学類准教授 大黒太郎
電話：024-548-8026
メール：a027@ipc.fukushima-u.ac.jp

授業科目

○第1科目：裁縫科

震災後も「までい着」づくりで一躍有名となった「カーネーションの会」の皆さんなど、飯舘村の女性の手には、「までいな生活」のなかで長年培ってきた裁縫の技があります。皆で集まってわいわいがやがや、縫い物を楽しみます。

○第2科目：食物科

村内各地の直売所で大変好評であった飯舘村の農産加工品は、凍み大根からキムチまで多種多様です。白菜の粕煮やかぼちゃ饅頭などのデザートまで、その作り方を学び、試作品をみんなで食べます。子供の頃、楽しみだった家庭科の時間を再び！

○第3科目：歴史科

飯舘村の村づくりは、村民の歴史です。「若妻の翼」や「未来への翼」など、その後の村づくりの基盤となった事業や、消防団や青年団の歴史、さらには村内小中学校や高校生活など、村＝村民の歴史を、それを作ってきた村民の皆さんとともに振り返り、飯舘村の村づくりをふり返ります。

○第4科目：方言科

「うっしょくど」「けんぶく」「ひじゃかぶ」...どれも飯舘村の山ことばです。こうした方言たくさん集め、季節ごとにまとめて、飯舘ことば満載のカレンダーを作ります。飯舘ことばのラジオ体操も作ってみたいと思っています。

○第5科目フィールドワーク

遠足は学校の楽しみの一つです。水族館や博物館など、孫や子供たちと楽しめるフィールドワークに出かけます。

○卒業式

3月に開催予定の「卒業式」では、授業に参加した方々が集まって、それまでの成果を、村内外の方々に披露することとなっています。

「ふるさと学級いいたて」では、先生も生徒も、どちらも飯舘村民のみなさんです。村民のみなさんが作る学校、それが「ふるさと学級いいたて」です。避難生活をおくる高齢者の孤立防止のため、また、帰村後の安心できる生活づくりに向けて、その基盤となる「コミュニティ」の新たな活性化を目指します。

なお、来る2月28日(土)には、ふくしまキッチンガーデンビルを会場に、「食物科」「方言科」の授業が開催されます。食物科では、村のそばうち名人のみなさんから「そば打ち」を学び、皆で食します。また、「方言科」では、「2015年(平成27年)までいカレンダー」が来場者の方々に配られ、3月の「ひなまつり」や4月の「さくら」に関する方言を学びます。ぜひ、多くの村民の方々のご参加をお待ちしています(改めて情報提供を行います)。

ふるさと学級いいたて

歴史科 飯舘石造文化財を学ぶ

講師：佐藤俊雄さん



佐藤俊雄さんは飯舘村飯樋から現在は福島市に避難しています。当初二年と言われた避難期間もとうに過ぎ、除染の遅れに伴い先の見えない避難生活を強いられています。しかし飯舘村の歴史好きの仲間で作る『飯舘歴史文化財愛好会』の事務局を運営。団子さし、柏餅づくりなどの暮らしの行事を再現し皆を元気づけています。佐藤さんは飯舘村役場に務め42年間を全う。その間 教育委員会や公民館、企画課などを担当。社寺仏閣、文化財…といえば お呼びがかかる不動の地位（！？）を確立してきました。佐藤さんの歴史好きの原点は小学校の4年生の時に遡ります。飯樋の近くの開墾田から土器が出土し、少年の心は大いに揺さぶられ時の流れの偉大さに目覚めたのです。それから数十年が過ぎ、避難生活に遭遇してもなお、これを機にさらにその探究心とフィールドは広がっています。

2月4日
10:00 ~ 12:00

キッチンガーデン 2F

〒960-8031

福島市栄町 10-3

もの言わぬ石造が…飯舘村の留守をまもります



Q, ふるさと学級いいたて とは？

A：福島大学は、飯舘村役場や村を支援する団体と協力し、「福島県地域コミュニティ復興支援事業」の採択を受け、「ふるさと学級いいたて」を開設します。福島市内のメイン「教室」や、各地の仮設住宅集会所・コミュニティセンターを会場に、村の高齢者にとって親しみやすいテーマを選んで、定期的に「授業」を開きます。授業は、先生も生徒もみな村民。村民のみなさんがつくる村民のみなさんのための学校、それが「ふるさと学級いいたて」です。



ふるさと学級いいたて

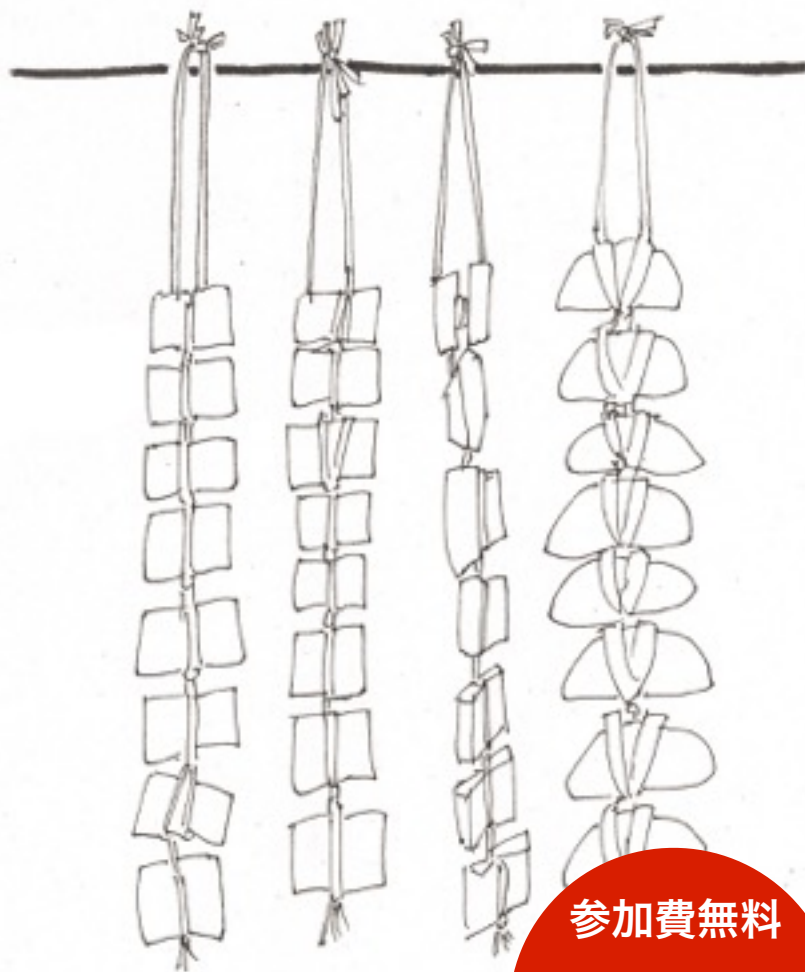
食物科からのお知らせ

3種類の凍み餅をつくろう！

- ごんぼっぱ餅、よもぎ餅、おから餅（きらず餅）

飯舘村で昔から受け継がれてきた凍み餅。ごんぼっぱやヨモギを使ったものはもちろん、おからを混ぜ込んだ「おから餅（きらず餅）」は懐かしい郷土料理。一緒に凍み餅を作ってみませんか？

「杵つきを済ませたお餅を用意しますので、皆さんでお餅をしばってみませんか？しばったお餅は部屋の軒先で干していただき、ぜひおいしい凍み餅に完成させてください！



日時：2月6日（金）

10:00~12:00ころ

開催場所：松川第2仮設集会所

25名様までご参加いただけます。

松川第2仮設集会所まで事前に

お申し込みください（締め切り2月5日木）

参加費無料

お土産に3種類のお餅をお持ち帰りいただけます

「ふるさと学級いいたて」 とは？

福島大学は、飯舘村役場や村を支援する団体と協力し、「福島県地域コミュニティ復興支援事業」の採択を受け、「ふるさと学級いいたて」を開設します。福島市内のメイン「教室」や、各地の仮設住宅集会所・コミュニティセンターを会場に、村の高齢者にとって親しみやすいテーマを選んで、定期的に「授業」を開きます。授業は、先生も生徒もみな村民。村民のみなさんがつくる村民のみなさんのための学校、それが「ふるさと学級いいたて」です。